

仙台市太白山自然観察の森 情報誌 2022年10月号

# 森のおくりもの10

NO.373 The Gift from Woods

ミゾソバ（タデ科）



なんと愛らしい花なのでしょう。白地にピンクのぼかしが絶妙ですし、コンペイトウの形に似ているので「美味しそう」の形容詞もぴったりなこの花は「ミゾソバ」です。湿った場所に咲く秋を代表する花の1つで、枝先に集まって咲く大きさは1cm位、ぼんぼりが秋風にそよそよ揺れる気持ちよさそうな姿を、自然観察の森では9月から10月にお楽しみいただけます。また、秋に見られるタデ科の植物に「サクラタデ」もありますが、こちらは花が穂状に付き、11月上旬まで花を見ることができます。ミゾソバは観察センターの近くでも観察できますので、窓口でお尋ねください。

【館長：佐藤由美】

# 森のことは

自然の様子や出来事を四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

## 『明日は明日の風が吹く』

秋は台風シーズンというとおおり、このところ頻繁に発生し、立て続けにやって来て、各地に被害をもたらしました。同じ台風一過でも、コースによっては暑くなったり肌寒くなったりと、その後の気温傾向がコロコロ変わりました。今の世の中では死語になると思われる“〇〇と秋の空”というように、秋の空は変わりやすいものの代名詞です。天気予報が発達していなかった昔では、人々は台風が来ることがわからなかったでしょうから、急に天気が大荒れし、その後天気がよくなるという状況には、私たち以上に驚いていたことでしょう。

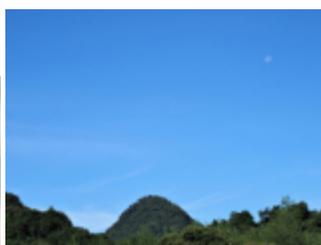
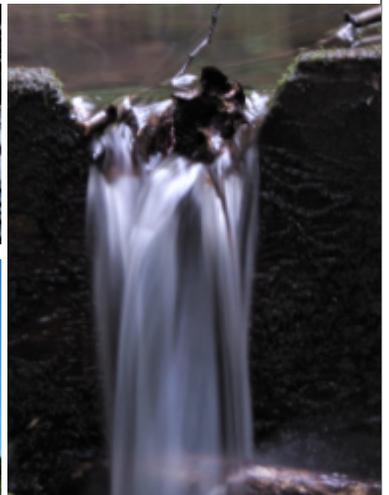
今は“台風の卵”の時からおおよその進路がわかり、昔と比べれば十分過ぎる天気予報ですが、便利に慣れた現代人は、更なる精度を求めてしまいます。私の好きな映画の作品の一つに『バック・トゥ・ザ・フューチャー』があるのですが、1989年に公開されたパート2では、2015年の未来が舞台で、そこで描かれている未来の天気予報は、秒単位の精度で紹介されています。2022年の現代でも実現されていない夢のようなお話です。

しかし、完璧な予報は便利ですが、絶対的にわかってしまうと、つまらないのではと感じます。もしかしたら晴れるかもしれないと願うことも、てるてる坊主を作って祈る文化もなくなるのではないのでしょうか。どうなるかわからないところに人は希望を見出すのではないかと思います。

『明日は明日の風が吹く』という言葉があります。由来は諸説あるのですが、映画『風と共に去りぬ』で主人公の女性のセリフをこう翻訳したことで広まったようです。今日の天気が悪くても、明日はまた違う天気になるかもしれないということから「先のことを案じずに、成り行きに身を任せていくのがよい。明日はいい日になるかもしれない。なるようになるという楽観的な感じ」という意味です。条件によって様々な光景を見せてくれる空。予想がつかない変化をする秋の空に、この言葉のイメージがしっくりくる感じがします。

最近では、社会情勢や物価高など先行きが不安な世の中で、悲観的になりがちですが「明日は明日の風が吹く」で楽観的に生きていくのがいいのかもしれません。

【レンジャー：新田隆一】



# 10月の生物ごよみ

## 植物

	9月		10月		11月
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
アキノキリンソウ					
オケラ					
ヤクシソウ					
コシオガマ					
センブリ					
リンドウ					
キッコウハグマ					

今年にはツキノワグマの出現情報をよく耳にします。9月7日未明には仙台市落合駅付近の街路樹を登っていたところを発見され殺処分されました。また8月下旬には上愛子付近で2名がツキノワグマに襲われ怪我をしたなどその他、多くの情報が入ってきています。自然観察センターでは今のところ目撃情報はありませんが毎年5月から11月にかけて夜を中心にツキノワグマがセンサーカメラで確認されています。今後も山を歩く場合は注意が必要ですがひとつ考えてみてください。本来、ツキノワグマを含む野生動物は人のいない山が住処です。しかし今ではその山を切り開き本来の野生動物の住処がおびやかされています。ここ自然観察センター周辺も昔は野生動物の住処だったのです。ただ人が便利さだけをもとめて自然を切り開くのではなく、野生動物と住み分けができるよう考えることも必要ではないのでしょうか？私はそう思います。【レンジャー：齋 正宏】

## 動物

	9月		10月		11月
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
アキアカネ					
モズの高鳴き					
冬鳥の一番手ジョウビタキ					

(ジョウビタキ 昨年は10月21日に初見)

# 森の「あれこれ」



## 「秋の巣立ち雛」

9月も下旬近くのある日、野鳥らしき声が、しかもセンターの中にもわかるほど近くから聞こえました。カメラを持ち外に出ると頭上のコナラの樹からその声は降ってきます。“君は誰？”細い、笛のような音色です。メジロ？ヒヨドリ？…頭の中の“太白山自然観察の森野鳥図鑑”を開いても思い当たる声は出てきません。もしかしてキビタキなどヒタキ類？

あらわれるまで待つことにしました。3連休の初日でもあり山歩きの人がひっきりなしに通ります。そのたび声が止んだり遠ざかったり(逃げないで!!)。距離を取って静かに待つこと30分程、下の写真です。



大きさはスズメくらい。全身オリーブ色で木の葉にまぎれば保護色になるかも。たった今巣立ちをした雛のようです。それにしてもあどけない仕草やつぶらな瞳、もふもふの羽毛…癒されます。ところで“君は何者なの？”メジロに似ていますが微妙に違います。ネットなど様々な手段で探したところ、なんと想定外の「ウグイス」でした。成鳥のウグイスは地味な枯葉色、日本野鳥の会「フィールドガイド日本の野鳥」では「褐色」と記されています。「ウグイスはウグイス色をしていませんよ」いつもジョークで話していましたが、その表現も考え直さなければ。もう一つ巣立ち雛が見られるのは初夏、せいぜい夏までとの固定観念がありました。まさか9月の後半に出逢えるとは！森での新しい発見にワクワクします。

ウグイスの巣立ち雛は2羽確認しました。冬を超え、無事に春を迎えましょうように。

【レンジャー：木田秀幸】

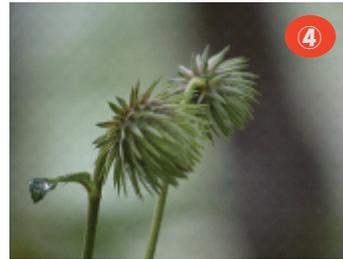
# 森は糸



# 森は布

森は様々な生き物が互いにつながって  
森として生きているんですね (\*\_\*)

トゲだらけの花でしょうか(写真①)、クリのイガのように全体を覆っていますね。端の方にハチが見えますが、なんだか花の中に吸い込まれて行くように見えます(写真②)。あっ！あっちの花では二匹のハチがトゲトゲにつかまっているようです！中に飲み込まれてしまいそう(写真③)。もしやこれは食虫植物か！…でも観察の森にモウセンゴケはいないし、…失礼しました、キク科のオヤマボクチの花でした。(^^♪



オヤマボクチ(御山火口)の火口(ほくち)とは、火打石の火を移す火種のことです。オヤマボクチの葉裏などには毛が多く、この毛などを火種に使ったのが名の由来のようですが、ヤマゴボウと称して根を食したり、葉の繊維をそばのつなぎに使ったりするのでそちらの方で知られているかもしれません。写真④は8月頃みられる蕾ですが、トゲで囲まれた部分は総苞です。一つ一つのトゲ状の部分は総苞片です。時間がたつと写真⑤のようにふくらみ、10月頃には写真⑥のように紫色の筒状花から黒い雄蕊を出した花が咲きます。筒状の雄蕊の先端から雌蕊と花粉が出て白く見えます。写真①～③のハチはおそらくトラマルハナバチでしょうか。長い口(口吻)で奥にある蜜を吸いにきたようです。ハチが蜜を求めて花の内部に潜ると、雌蕊が覆いかぶさるようになり、ハチは花粉まみれ。互いにウィンウィンですね。(^^♪【レンジャー:菅原幸彦】

# 10月のイベント&お知らせ

## ◆「色づく秋の森を散策しよう」

- 【日 時】10月22日(土)10:00~11:30 7日(金)午前9時より電話申込み  
【対 象】小学生以上 10名(先着) (中学生以下は保護者同伴)  
【内 容】森を歩きながら紅葉の色の違いを観察して自然を楽しみます。  
【持ち物】飲み物、帽子、かっぱ、歩きやすい服装と靴

## ◆「秋色の森の自然あそび」

- 【日 時】10月29日(土)10:00~12:00 8日(土)午前9時より電話申込み  
【対 象】5歳以上の子どもとその保護者 10名(先着)  
【内 容】草花などの自然の素材を使った遊びで秋ならではの森を楽しみます。  
【持ち物】飲み物、帽子、かっぱ、歩きやすい服装と靴

## ◆「晩秋の蕃山ウォーキング」

- 【日 時】11月5日(土)9:30~15:00  
【対 象】小学生以上 (中学生以下は保護者同伴) 20名(当選者)  
【内 容】晩秋の自然について講師の解説を聞きながら、蕃山の森を歩きます。  
【持ち物】昼食、飲み物、帽子、かっぱ、歩きやすい服装と靴  
【集 合】茂庭台市民センター  
【申込み】往復葉書にて応募要項を記入して 10月19日(火)まで必着(抽選)

**ガイドウォーク** 毎週日曜日開催  
申込み不要、どなたでも参加できます。

**開催日: 2日, 9日, 16日, 23日, 30日**  
**時 間: 10:00~11:30, 13:30~15:00**  
(午前と午後の2回開催)

**休 館 日**



**3日, 11日, 17日, 24日, 31日**  
毎週月曜日休館、月曜日が  
祝祭日の場合は火曜日休館

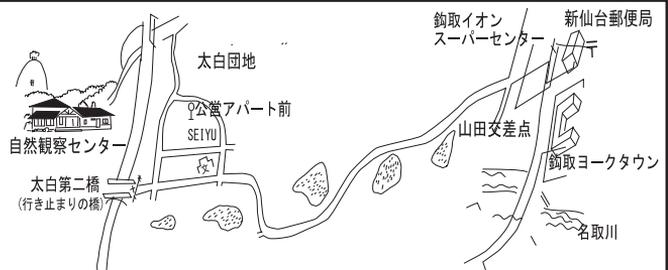
### 観察の森へのアクセス

#### 宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
  - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
  - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」  
※③のみ可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」  
いずれも 公営アパート前 下車 → 徒歩15分

#### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。  
駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63  
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行: (公財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター